

## (2) 今期の景況と来期の見通し

### 製 造 業

#### 業況・売上額・収益・受注残

今期の業況は△51.7で、前期比15.5ポイント増と大幅に改善した。売上額は△50.2で12.5ポイント増、収益は△51.2で15.5ポイント増となり、ともに大幅に改善している。受注残は△48.0と6.5ポイント増加した。今期の製造業は依然として厳しさが残るが、売上額、収益、受注残すべてが改善し、業況は持ち直の動きがみられた。

来期は、売上額、収益、受注残すべてで改善し、業況は改善傾向が続く見込み。

業種別の業況をみると、「一般機械器具、金型」、「電気機械器具」は大幅に改善し、厳しさが和らいだものの、「金属製品、建設用金属製品」は前期同様最低の△100.0となった。

売上額は、「一般機械器具、金型」、「電気機械器具」は大幅に改善したものの、「金属製品、建設用金属製品」は悪化した。

収益は、「一般機械器具、金型」、「電気機械器具」は大幅に改善し、持ち直しの動きがみられたが、「金属製品、建設用金属製品」は前期同様最低の△100.0となった。

受注残は、「一般機械器具、金型」は増加したが、「電気機械器具」は前期並、「金属製品、建設用金属製品」は減少した。

#### 価格・在庫動向

販売価格は△31.4で5.5ポイント増と下降傾向が一服し、原材料価格は△12.4で前期並となった。在庫は△7.6で6.2ポイント減と品薄感が強まった。

来期の見通しについては、販売価格は厳しさが和らぎ、原材料価格は下降が弱まるとみられる。在庫は品薄感が緩和する見込み。

業種別でみると、販売価格については、「金属製品、建設用金属製品」、「一般機械器具、金型」は下降が弱まったが、「電気機械器具」は下降を強めた。原材料価格は、「電気機械器具」は下降したが、「金属製品、建設用金属製品」、「一般機械器具、金型」は下降傾向に歯止めがかかった。在庫は、「金属製品、建設用金属製品」は前期並だが、「一般機械器具、金型」、「電気機械器具」は減少した。

#### 資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは△31.9で15.3ポイント増と大幅に改善した。借入難易度は△17.2となり3.7ポイント増と改善、借入をした企業は21.0%と6.7ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は3.1%で前期並となった。

来期の見通しについては、資金繰りは窮屈感がさらに和らぎ、借入をする企業は減少する見込み。設備投資を実施する企業は今期並と予想される。

業種別でみると、資金繰りについては、「金属製品、建設用金属製品」、「一般機械器具、金型」、「電気機械器具」すべてで窮屈感が和らいだ。

借入難易度は、「一般機械器具、金型」、「電気機械器具」は改善したが、「金属製品、建設用金属製品」は悪化した。借入をした企業は、「一般機械器具、金型」は増加し、「金属製品、建設用金属製品」、「電気機械器具」は減少した。

設備投資動向については、設備投資を実施した企業は、「金属製品、建設用金属製品」、「一般機械器具、金型」は前期同様0.0%となり、「電気機械器具」は減少した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、1位が「売上の停滞・減少」で76.2%となった。次いで2位は「同業者間の競争の激化」で34.7%、3位が「利幅の縮小」で32.7%、4位が「販売納入先からの値下げ要請」で16.8%となった。

重点経営施策では、1位は「経費を節減する」が65.3%、2位は「販路を広げる」で58.4%、3位は「新製品・技術を開発する」で15.8%、4位は「情報力を強化する」で13.9%となった。

## 業種別動向

### (1) 金属製品・建設用金属製品

業況は△100.0で前期並となった。売上額は△100.0で10.2ポイント減と大幅に悪化している。収益は△100.0で前期並となった。受注残は△100.0と20.0ポイント減少した。今期の「金属製品・建設用金属製品」は、売上額、収益、受注残すべてで最低水準の△100.0となり、非常に厳しい業況が続いている。

価格動向については、販売価格は△20.5で15.9ポイント増と下降が弱まり、原材料価格は△18.2で1.6ポイント増と下降がやや弱まった。在庫は8.4で前期並となった。資金繰りについては、△41.6で47.4ポイント増と大幅に改善した。借入難易度は、△30.0となり7.8ポイント減と悪化した。借入をした企業は10.0%と10.0ポイント減少した。設備投資動向については、実施した企業は前期同様0.0%となった。

来期の見通しについては、売上額、受注残、収益のすべてで改善するものの、業況は改善せず、厳しさが続く見込み。販売価格、原材料価格はともに下降が弱まるとみられる。在庫は増加し、資金繰りは苦しさが増すと予想される。また、設備投資を実施する企業は今年同様0.0%となる見込み。

経営上の問題点については、1位が「売上の停滞・減少」で81.8%、2位が「同業者間の競争の激化」で63.6%、3位が「利幅の縮小」で27.3%となった。

重点経営施策については、1位が「販路を広げる」と「経費を節減する」でともに63.6%、2位が「情報力を強化する」で27.3%、3位が「新製品・技術を開発する」で18.2%となった。

### (2) 一般機械器具・金型

業況は△24.0で前期より35.3ポイント増と大幅に改善した。売上額は△29.0で26.6ポイント増、収益は△38.8で21.1ポイント増となり、ともに持ち直しの動きがみられた。受注残は△34.2で12.9ポイント増加した。今期の「一般機械器具・金型」は売上高、収益、受注残すべてで改善し、業況は厳しさが和らいだ。

価格動向については、販売価格は△21.5で26.1ポイント増と下降傾向が一服したが、原材料価格は7.6で18.8ポイント増と上昇に転じた。在庫は△4.6となり1.9ポイント減少した。資金繰りは△35.5で38.8ポイント増と苦しさや和らぎ、借入難易度は△46.2で3.8ポイント増と改善した。借入をした企業は46.2%で4.5ポイント増加し、設備投資を実施した企業は、前期同様0.0%であった。

来期の見通しについては、収益、受注残は改善するものの、売上額は今年並で、業況は悪化する見込み。販売価格は下降が弱まり、原材料価格はさらに上昇するとみられる。在庫は減少し、資金繰りは苦しさや弱まるとみられる。設備投資を実施する企業は今年同様0.0%と予想される。

経営上の問題点については、1位が「売上の停滞・減少」で76.9%、2位が「利幅の縮小」で38.5%、3位が「同業者間の競争の激化」と「販売納入先からの値下げ要請」でともに23.1%となった。

重点経営施策については、1位が「販路を広げる」と「経費を節減する」でともに69.2%、2位が「提携先を見つける」で30.8%、3位が「新製品・技術を開発する」で15.4%となった。

### (3) 電気機械器具

業況は△47.0で19.4ポイント増と大幅に改善している。売上額は△47.5で13.4ポイント増、収益は△44.5で26.1ポイント増となり、ともに減少に歯止めがかかった。受注残は△47.5で前期並となった。今期の「電気機械器具」は、受注残は前期並となったものの、売上額、収益が大幅に改善したことで、業況は厳しさが和らいだ。

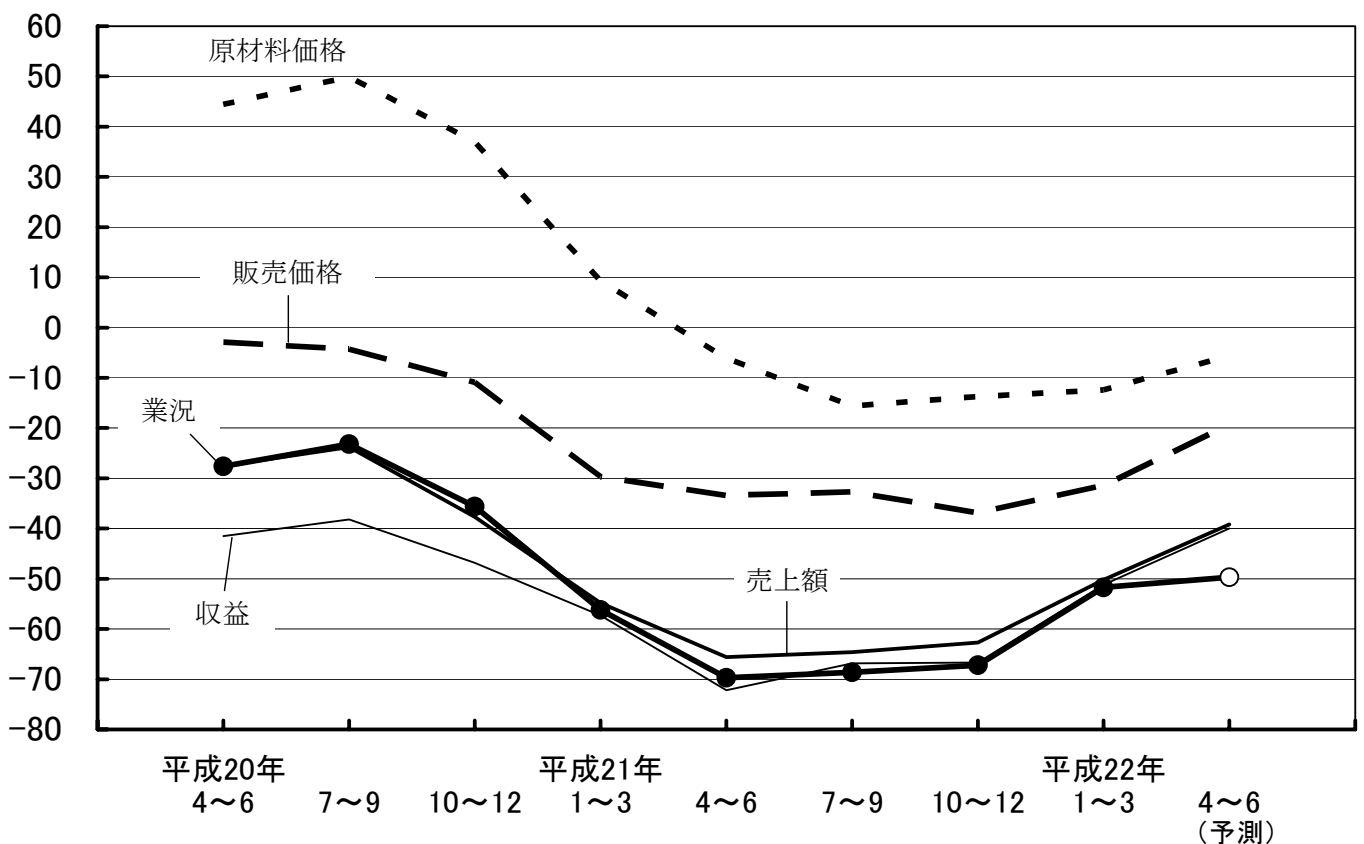
価格動向については、販売価格は△42.8で5.0ポイント減、原材料価格は△18.8で8.3ポイント減とともに下降を強めた。在庫は△14.2で13.0ポイント減少している。資金繰りは△32.6で6.6ポイント増と窮屈感が緩和した。借入難易度は△33.3とやや改善し、借入をした企業は25.0%で15.0ポイント減少した。設備投資を実施した企業は4.3%で3.7ポイント減少した。

来期の見通しについては、売上額、収益、受注残すべてで大幅に改善し、業況は厳しいながらも上向くとみられる。販売価格、原材料価格はともに下降傾向が一服するとみられる。在庫は不足感が緩和する見込み。資金繰りは苦しさが和らぎ、設備投資を実施する企業は増加すると予想される。

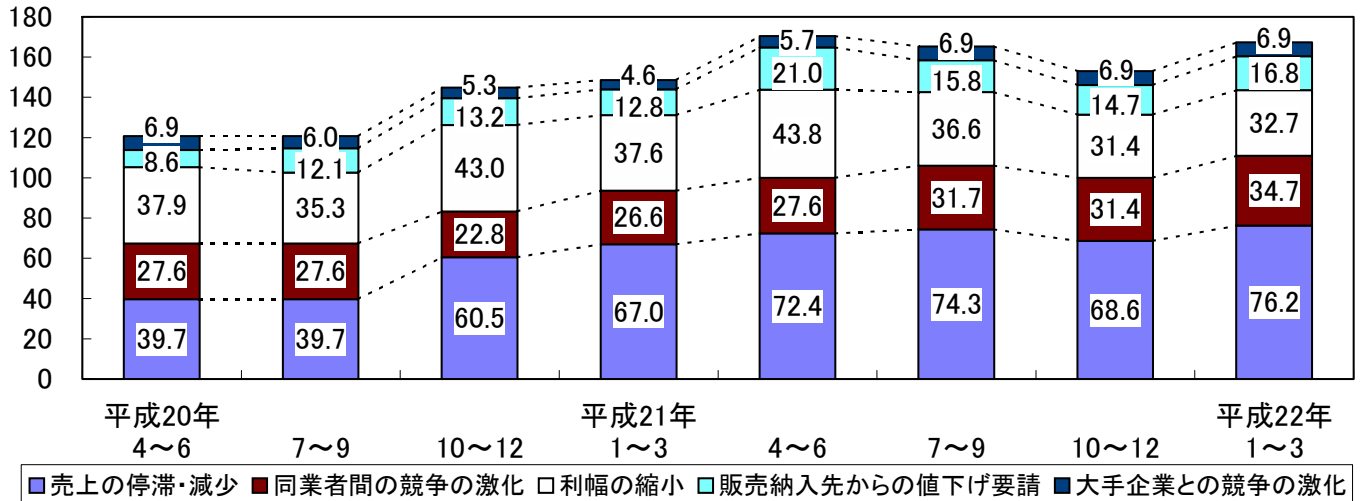
経営上の問題点については、1位が「売上の停滞・減少」で66.7%となり、次いで2位が「利幅の縮小」で37.5%、3位が「販売納入先からの値下げ要請」で20.8%となった。

重点経営施策については、1位が「経費を節減する」で66.7%となり、次いで2位が「販路を広げる」で41.7%、3位が「情報力を強化する」で29.2%となった。

業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測

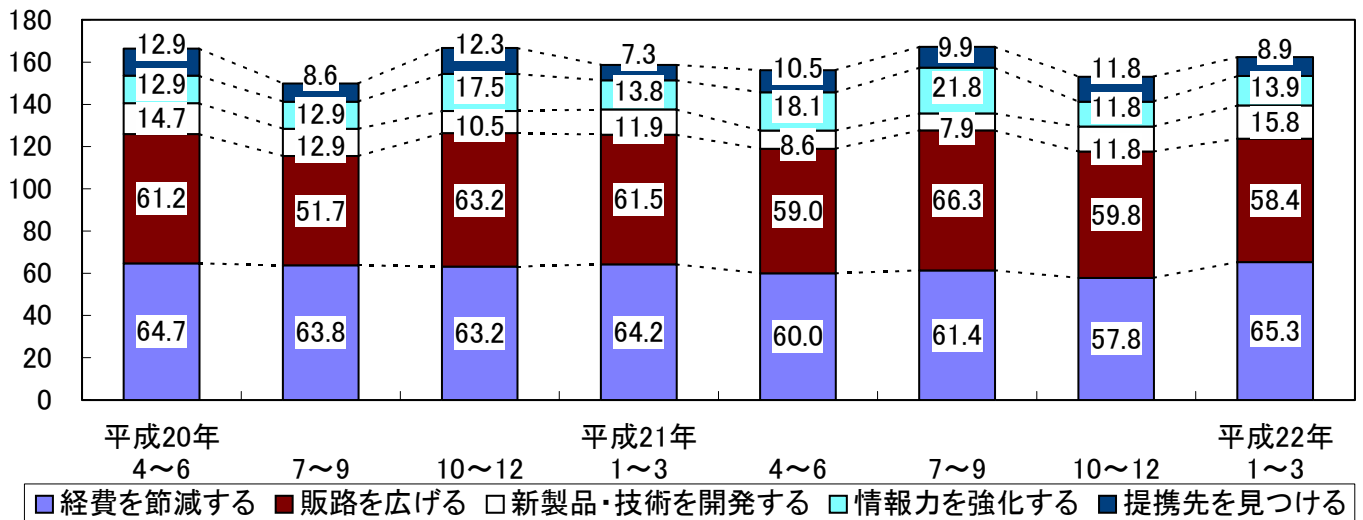


製造業 経営上の問題点（％）



	21年4～6月期	21年7～9月期	21年10～12月期	22年1～3月期
第1位	売上停滞・減少 72.4 %	売上停滞・減少 74.3 %	売上停滞・減少 68.6 %	売上停滞・減少 76.2 %
第2位	利幅の縮小 43.8 %	利幅の縮小 36.6 %	利幅の縮小 31.4 % 同業者間の競争の激化 31.4 %	同業者間の競争の激化 34.7 %
第3位	同業者間の競争の激化 27.6 %	同業者間の競争の激化 31.7 %	販売納入先からの値下げ要請 14.7 %	利幅の縮小 32.7 %
第4位	販売納入先からの値下げ要請 21.0 %	販売納入先からの値下げ要請 15.8 %	大手企業との競争の激化 6.9 %	販売納入先からの値下げ要請 16.8 %
第5位	仕入先からの値上げ要請 5.7 % 原材料高 5.7 % 大手企業との競争の激化 5.7 % 合理化の不足 5.7 %	大手企業との競争の激化 6.9 %	大手企業・工場の縮小・撤退 4.9 % 親企業による選別の強化 4.9 %	大手企業との競争の激化 6.9 %

製造業 重点経営施策（％）



	21年4～6月期	21年7～9月期	21年10～12月期	22年1～3月期
第1位	経費を節減する 60.0 %	販路を広げる 66.3 %	販路を広げる 59.8 %	経費を節減する 65.3 %
第2位	販路を広げる 59.0 %	経費を節減する 61.4 %	経費を節減する 57.8 %	販路を広げる 58.4 %
第3位	情報力を強化する 18.1 %	情報力を強化する 21.8 %	提携先を見つける 11.8 % 新製品・技術を開発する 11.8 % 情報力を強化する 11.8 %	新製品・技術を開発する 15.8 %
第4位	提携先を見つける 10.5 %	提携先を見つける 9.9 %	不採算部門を整理・縮小する 4.9 %	情報力を強化する 13.9 %
第5位	新製品・技術を開発する 8.6 %	新製品・技術を開発する 7.9 %	機械化を推進する 3.9 %	提携先を見つける 8.9 %

## 卸 売 業

### 業況・売上額・収益

業況は $\Delta 50.7$  となり前期より 3.8 ポイント減と悪化した。売上額は $\Delta 39.1$  と前期並、収益は $\Delta 28.2$  で 6.6 ポイント増と改善した。今期の卸売業は、収益は悪化に歯止めがかかっているが、売上額は前期並で、業況は厳しさを増した。

来期は、売上額、収益ともに改善し、業況は厳しいながらも上向く見込み。

### 価格・在庫動向

販売価格は $\Delta 22.6$  で 3.6 ポイント減とさらに下降したが、仕入価格は $\Delta 2.6$  となり 4.0 ポイント増と下降が弱まった。在庫は 9.2 で 12.9 ポイント増と不足から過剰に転じた。

来期の見通しについては、販売価格は下降傾向に歯止めがかかり、仕入価格は下降がやや弱まると予想している。在庫は過剰感が緩和する見込み。

### 資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは $\Delta 30.0$  となり 3.2 ポイント増と改善した。

借入難易度は $\Delta 11.6$  で前期並となり、今期借入をした企業は 34.5%で 10.3 ポイント減少した。

設備投資については、実施した企業は 3.4%で前期並となった。

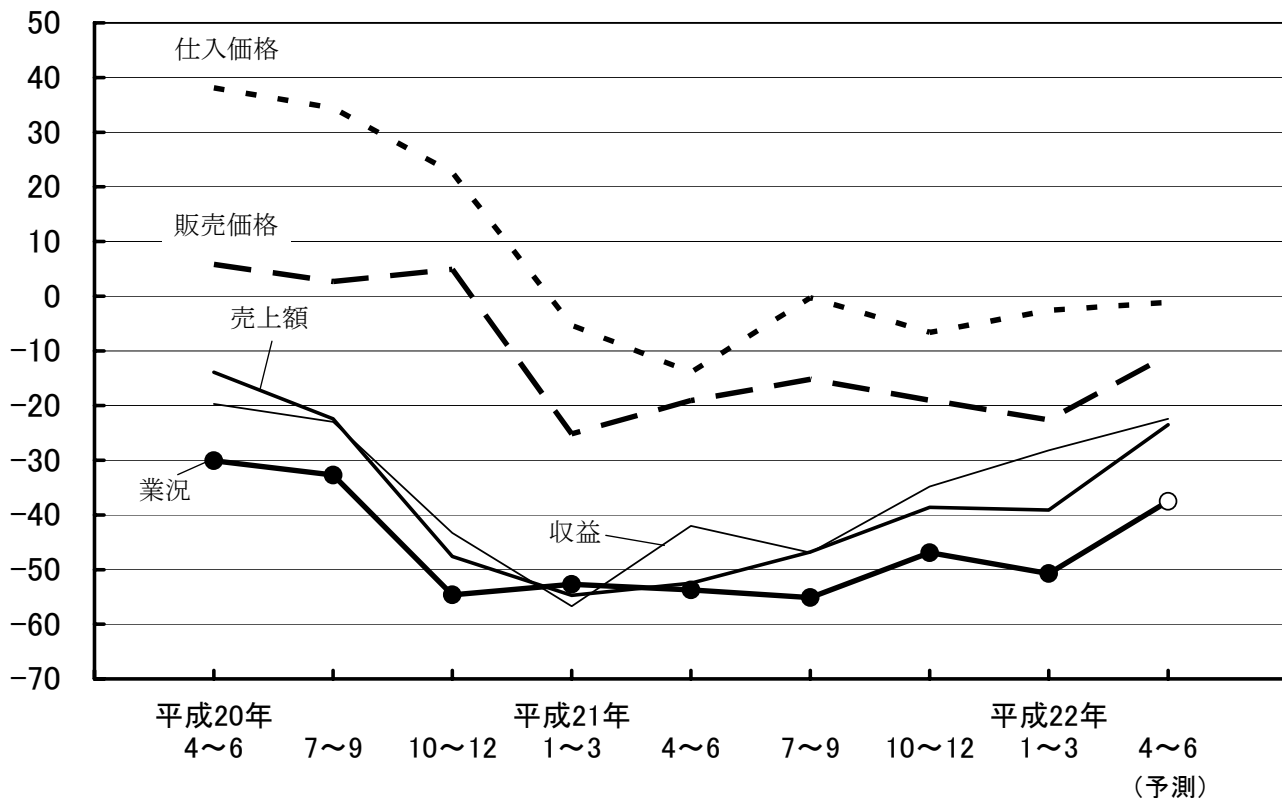
来期は、資金繰りの改善が進み、借入をする企業は減少するとみられる。設備投資を実施する企業は今期並と予想している。

### 経営上の問題点・重点経営施策

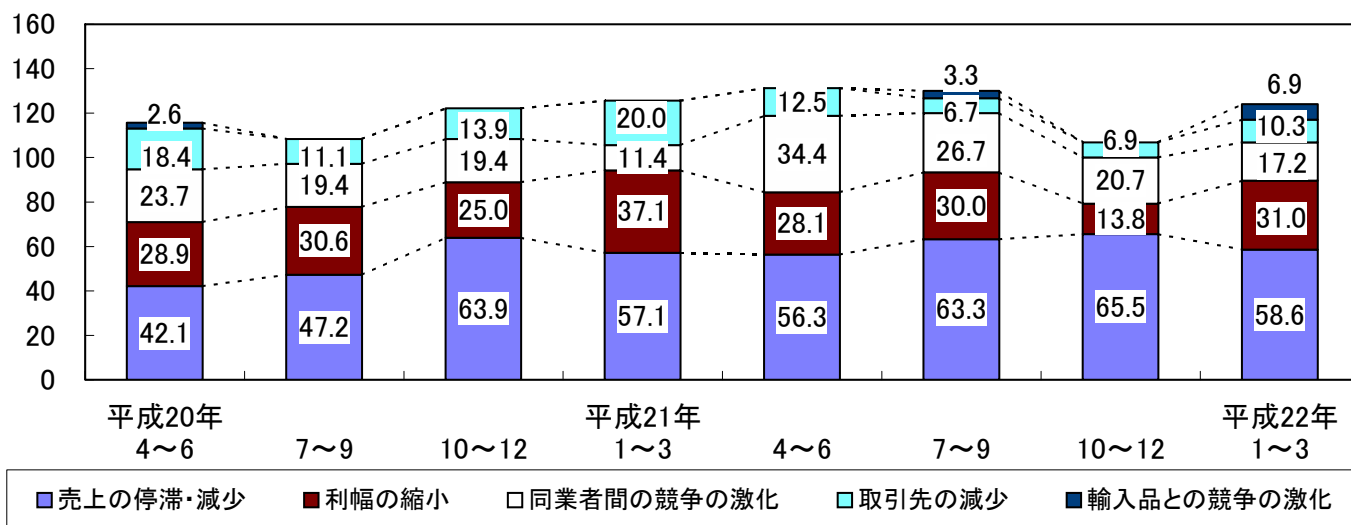
経営上の問題点は、1 位が「売上の停滞・減少」で 58.6%となった。2 位が「利幅の縮小」で大幅に増加し 31.0%、3 位が「同業者間の競争の激化」で 17.2%、4 位が「取引先の減少」で 10.3%となった。

重点経営施策では、1 位が「販路を広げる」で 69.0%となった。次いで 2 位が「経費を節減する」で 34.5%、3 位が「品揃えを充実する」で 17.2%、4 位が「情報力を強化する」で 13.8%となった。

業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



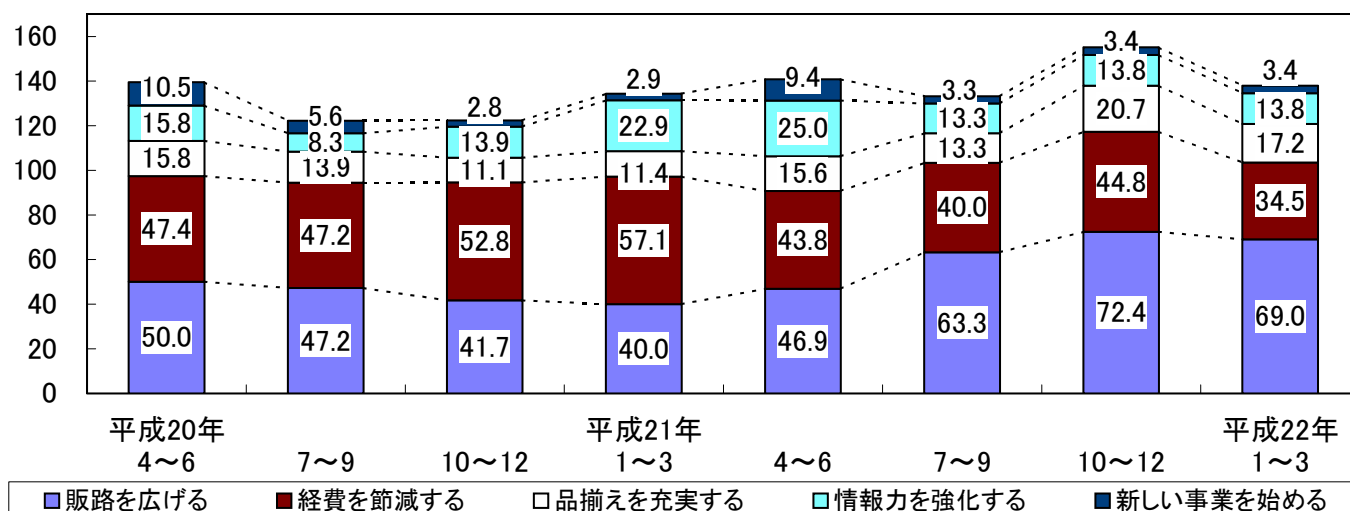
卸売業 経営上の問題点（％）



	21年4~6月期	21年7~9月期	21年10~12月期	22年1~3月期
第1位	売上の停滞・減少 56.3 %	売上の停滞・減少 63.3 %	売上の停滞・減少 65.5 %	売上の停滞・減少 58.6 %
第2位	同業者間の競争の激化 34.4 %	利幅の縮小 30.0 %	同業者間の競争の激化 20.7 %	利幅の縮小 31.0 %
第3位	利幅の縮小 28.1 %	同業者間の競争の激化 26.7 %	利幅の縮小 13.8 %	同業者間の競争の激化 17.2 %
第4位	取引先の減少 12.5 % 仕入先からの値上げ要請 12.5 %	販売納入先からの値下げ要請 10.0 % 販売商品の不足 10.0 %	取引先の減少 6.9 %	取引先の減少 10.3 %
第5位	小口注文・多頻度配送の増加 9.4 %	小口注文・多頻度配送の増加 6.7 % 取引先の減少 6.7 %	大手企業・工場の縮小・撤退 3.4 % 販売納入先からの値下げ要請 3.4 % 小口注文・多頻度配送の増加 3.4 %	輸入品との競争の激化 6.9 %

注) 21年10~12月期の第5位は「人手不足」「流通経路の変化による競争の激化」「小口注文・多頻度配送の増加」「取扱商品の陳腐化」「販売納入先からの値下げ要請」「仕入先からの値上げ要請」「人件費の増加」「代金回収の悪化」「地場産業の衰退」「大手企業・工場の縮小・撤退」の10項目

卸売業 重点経営施策（％）



	21年4～6月期	21年7～9月期	21年10～12月期	22年1～3月期
第1位	販路を広げる 46.9 %	販路を広げる 63.3 %	販路を広げる 72.4 %	販路を広げる 69.0 %
第2位	経費を節減する 43.8 %	経費を節減する 40.0 %	経費を節減する 44.8 %	経費を節減する 34.5 %
第3位	情報力を強化する 25.0 %	情報力を強化する 13.3 % 品揃えを充実する 13.3 %	品揃えを充実する 20.7 %	品揃えを充実する 17.2 %
第4位	品揃えを充実する 15.6 %	機械化を推進する 6.7 % 提携先を見つける 6.7 %	情報力を強化する 13.8 %	情報力を強化する 13.8 %
第5位	新しい事業を始める 9.4 %	教育訓練を強化する 3.3 % 新しい事業を始める 3.3 % 流通経路の見直しをする 3.3 %	教育訓練を強化する 3.4 % 提携先を見つける 3.4 % 新しい事業を始める 3.4 %	流通経路の見直しをする 3.4 % 教育訓練を強化する 3.4 % 提携先を見つける 3.4 % 新しい事業を始める 3.4 %

## 小 売 業

### 業況・売上額・収益

今期の業況は△51.5で前期比13.1ポイント増と大幅に改善した。売上額は△43.6で11.6ポイント増、収益は△46.5で5.9ポイント増と改善した。今期の小売業は依然として厳しいものの、売上額、収益ともに改善し、業況は上向いた。

来期は売上額、収益ともに改善し、業況も持ち直す見込み。

### 価格・在庫動向

販売価格は△24.8で前期比8.5ポイント増と下降が弱まり、仕入価格は△22.8で前期並となった。在庫は△6.8となり、3.8ポイント減少した。

来期の見通しについては、販売価格、仕入価格ともに下降が弱まり、在庫は今期並と予想している。

### 資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは△29.6で8.4ポイント増と改善した。

借入難易度は△10.0となり3.2ポイント増と改善し、借入した企業は6.4%と2.1ポイント減少した。

設備投資については、実施した企業は4.7%で2.0ポイント減少した。

来期の見通しについては、資金繰りは窮屈感が緩和し、借入をする企業は増加するとみられる。設備投資を実施する企業は増加するとみられる。

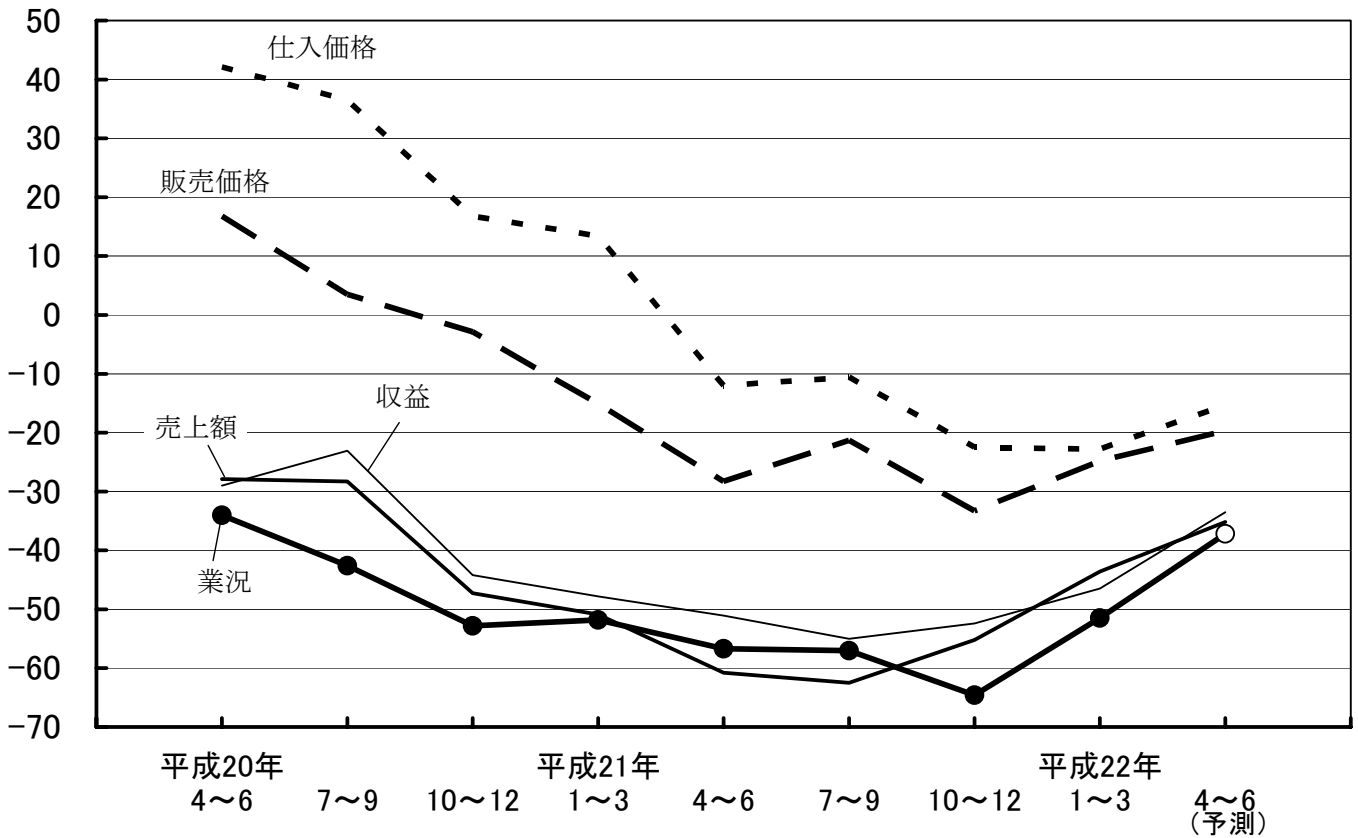
### 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点については、1位が「売上の停滞・減少」で62.5%となった。次いで2位が「大型店との競争の激化」と「同業者間の競争の激化」でともに27.1%、3位が「商店街の集客力の低下」で25.0%となった。

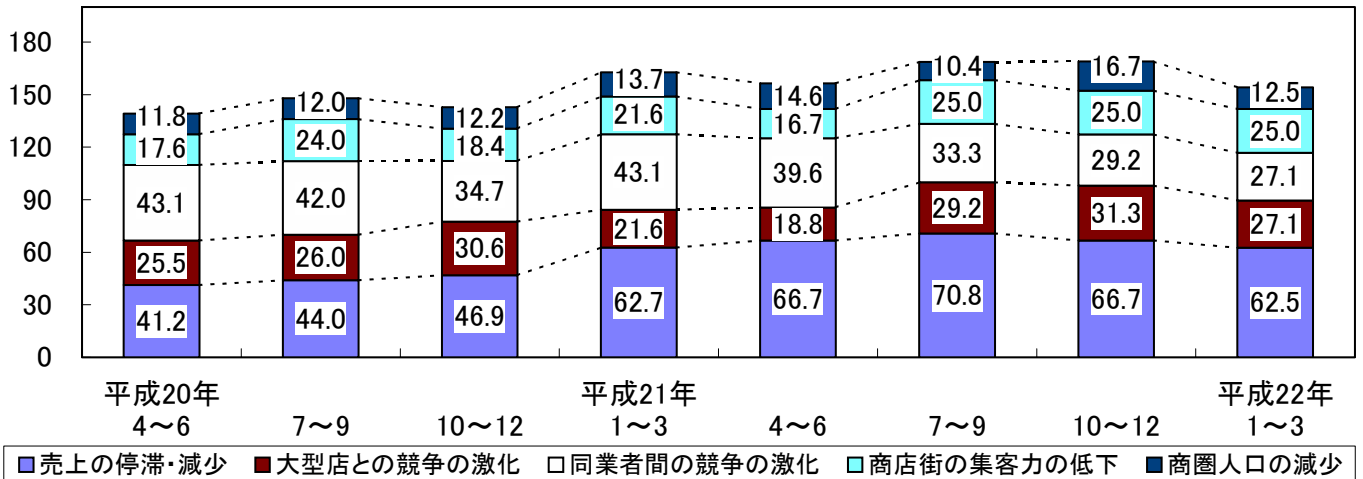
重点経営施策では、1位が「経費を節減する」で54.2%となった。次いで2位は「品揃えを改善する」で35.4%、3位は「売れ筋商品を取扱う」で大幅に増加し31.3%、4位は「商店街事業を活性化させる」で22.9%となった。



業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

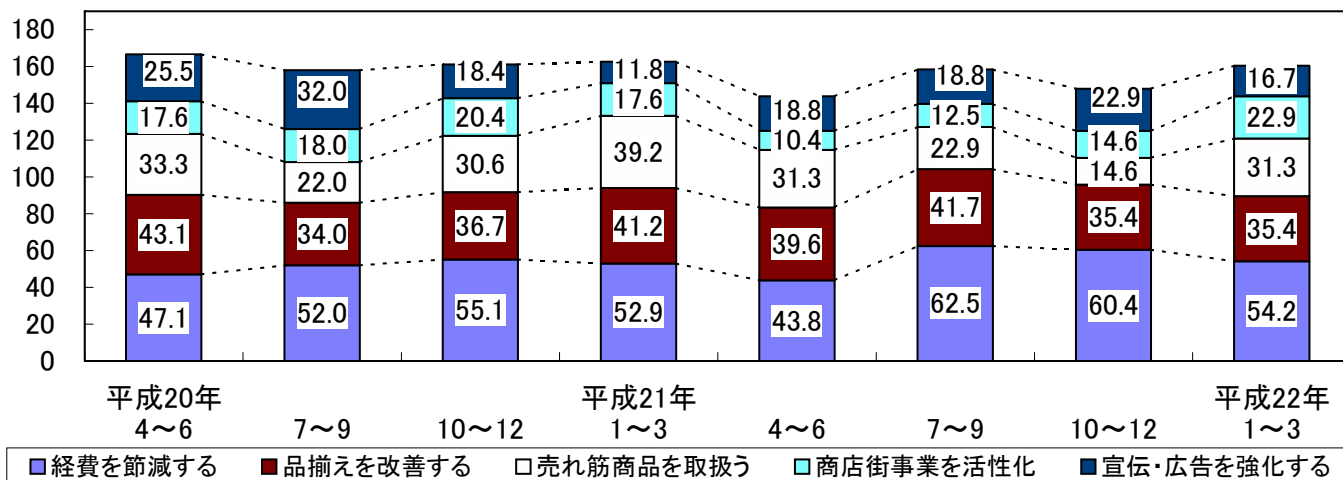


小売業 経営上の問題点（％）



	21年4~6月期	21年7~9月期	21年10~12月期	22年1~3月期
第1位	売上の停滞・減少 66.7 %	売上の停滞・減少 70.8 %	売上の停滞・減少 66.7 %	売上の停滞・減少 62.5 %
第2位	同業者間の競争の激化 39.6 %	同業者間の競争の激化 33.3 %	大型店との競争の激化 31.3 %	大型店との競争の激化 27.1 %
			同業者間の競争の激化 29.2 %	同業者間の競争の激化 27.1 %
第3位	大型店との競争の激化 18.8 %	大型店との競争の激化 29.2 %	同業者間の競争の激化 29.2 %	商店街の集客力の低下 25.0 %
第4位	商店街の集客力の低下 16.7 %	商店街の集客力の低下 25.0 %	商店街の集客力の低下 25.0 %	商圈人口の減少 12.5 %
第5位	商圈人口の減少 14.6 %	利幅の縮小 20.8 %	商圈人口の減少 16.7 %	取扱商品の陳腐化 8.3 %

小売業 重点経営施策（％）



	21年4~6月期	21年7~9月期	21年10~12月期	22年1~3月期
第1位	経費を節減する 43.8 %	経費を節減する 62.5 %	経費を節減する 60.4 %	経費を節減する 54.2 %
第2位	品揃えを改善する 39.6 %	品揃えを改善する 41.7 %	品揃えを改善する 35.4 %	品揃えを改善する 35.4 %
第3位	売れ筋商品を取扱う 31.3 %	売れ筋商品を取扱う 22.9 %	宣伝・広告を強化する 22.9 %	売れ筋商品を取扱う 31.3 %
第4位	宣伝・広告を強化する 18.8 %	宣伝・広告を強化する 18.8 %	商店街事業を活性化させる 14.6 % 売れ筋商品を取扱う 14.6 %	商店街事業を活性化させる 22.9 %
第5位	商店街事業を活性化させる 10.4 %	商店街事業を活性化させる 12.5 %	仕入先を開拓・選別する 6.3 %	宣伝・広告を強化する 16.7 %

## サービス業

### 業況・売上額・収益

業況は $\Delta 45.3$ で前期より16.7ポイント増と大幅に改善した。売上額は $\Delta 46.5$ で6.4ポイント増と改善している。収益は $\Delta 45.3$ で10.9ポイント増と大幅に改善した。今期のサービス業については、売上額、収益ともに改善し、業況は厳しさが和らいだ。

来期の見通しについては、売上額、収益ともに今期並となり、業況は再び悪化する見込み。

### 価格・在庫動向

料金価格は $\Delta 11.6$ で前期より1.9ポイント減とやや下降した。材料価格は6.3で3.7ポイント増と上昇した。

来期の見通しとしては、料金価格は下降が弱まり、材料価格はやや上昇するとみられる。

### 資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りについては $\Delta 19.9$ となり、7.6ポイント増と改善した。

借入難易度は $\Delta 16.6$ で3.4ポイント増と改善し、借入した企業は14.3%で1.7ポイント減少した。設備投資については、実施した企業は4.2%と1.9ポイント減少した。

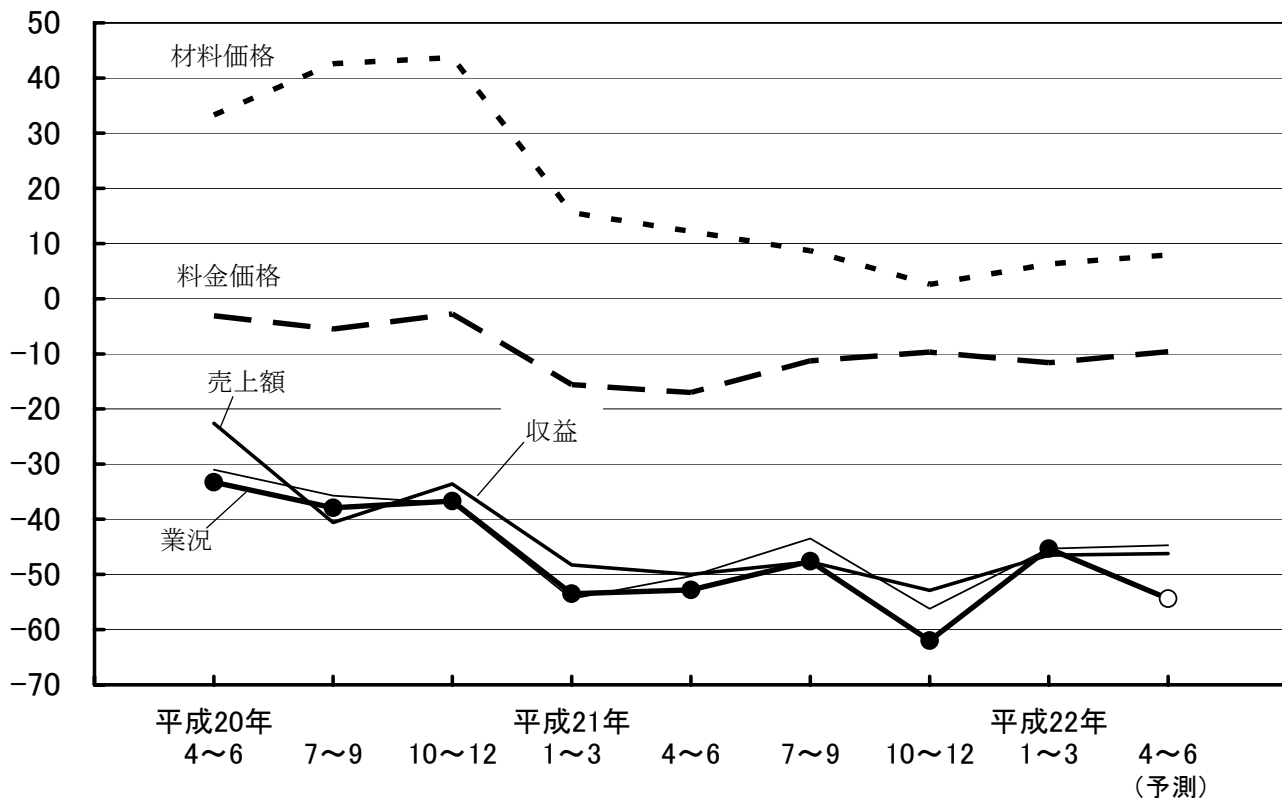
来期の見通しについては、資金繰りはやや悪化し、借入する企業は減少すると予想される。設備投資を実施する企業は今期並となる見込み。

### 経営上の問題点・重点経営施策

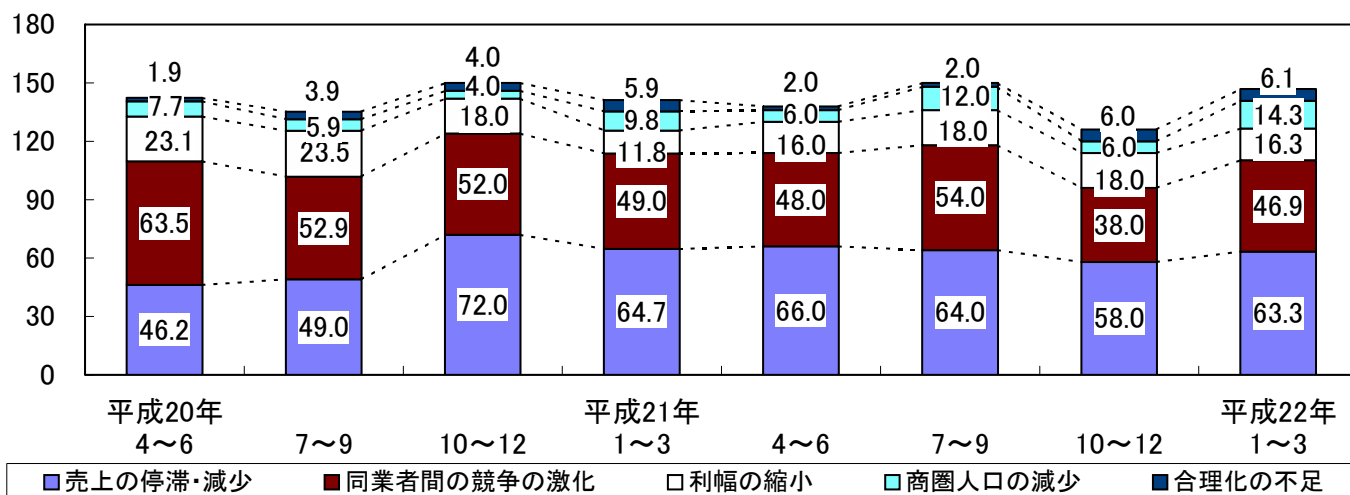
経営上の問題点は、1位が「売上の停滞・減少」で63.3%となり、2位は「同業者間の競争の激化」で46.9%、3位が「利幅の縮小」で16.3%、4位が「商圈人口の減少」で14.3%となった。今期は特に「同業者間の競争の激化」と「商圈人口の減少」の割合が高まった。

重点経営施策では、1位が「経費を節減する」で55.1%となった。2位は「販路を広げる」で42.9%となり、3位は「宣伝・広告を強化する」で16.3%となった。

業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

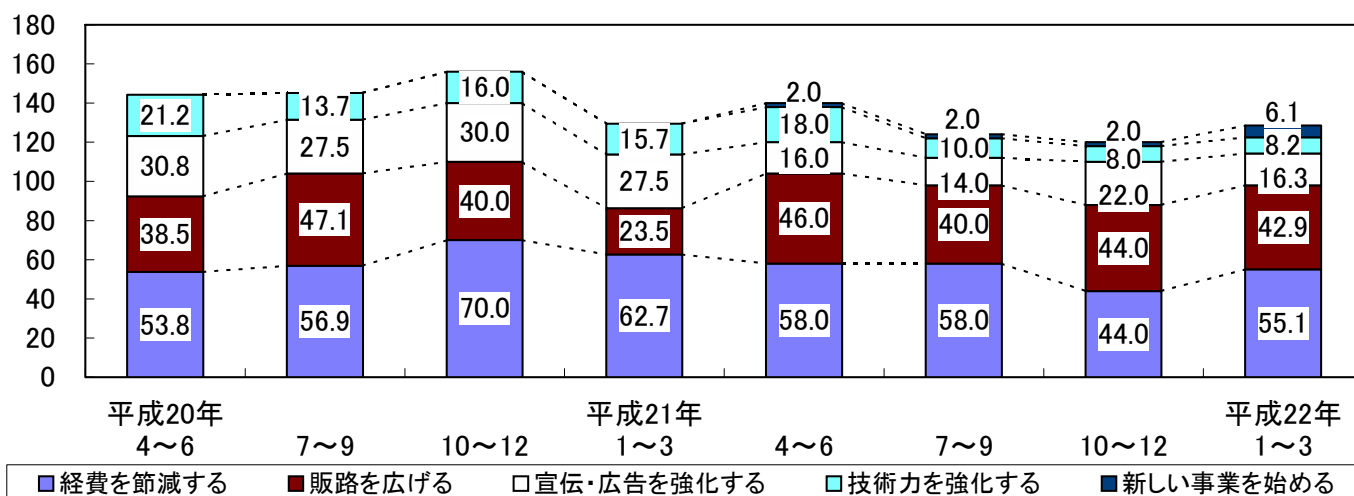


サービス業 経営上の問題点（％）



	21年4~6月期	21年7~9月期	21年10~12月期	22年1~3月期
第1位	売上の停滞・減少 66.0 %	売上の停滞・減少 64.0 %	売上の停滞・減少 58.0 %	売上の停滞・減少 63.3 %
第2位	同業者間の競争の激化 48.0 %	同業者間の競争の激化 54.0 %	同業者間の競争の激化 38.0 %	同業者間の競争の激化 46.9 %
第3位	利幅の縮小 16.0 %	利幅の縮小 18.0 %	利幅の縮小 18.0 %	利幅の縮小 16.3 %
第4位	取引先の減少 12.0 %	商圈人口の減少 12.0 %	取引先の減少 16.0 %	商圈人口の減少 14.3 %
第5位	人件費の増加 10.0 %	人件費の増加 8.0 %	人件費の増加 8.0 %	合理化の不足 6.1 %

サービス業 重点経営施策（％）



	21年4～6月期	21年7～9月期	21年10～12月期	22年1～3月期
第1位	経費を節減する 58.0 %	経費を節減する 58.0 %	経費を節減する 44.0 % 販路を広げる 44.0 %	経費を節減する 55.1 %
第2位	販路を広げる 46.0 %	販路を広げる 40.0 %	宣伝・広告を強化する 22.0 %	販路を広げる 42.9 %
第3位	技術力を強化する 18.0 %	宣伝・広告を強化する 14.0 %	教育訓練を強化する 8.0 % 技術力を強化する 8.0 %	宣伝・広告を強化する 16.3 %
第4位	宣伝・広告を強化する 16.0 %	技術力を強化する 10.0 %	人材を確保する 4.0 %	技術力を強化する 8.2 %
第5位	提携先を見つける 10.0 %	教育訓練を強化する 8.0 %	新しい事業を始める 2.0 % 機械化を推進する 2.0 %	新しい事業を始める 6.1 %

## 建設業

### 業況・売上額・収益・受注残・施工高

今期の業況は $\Delta 53.2$ となり前期比 5.4 ポイント増と改善した。売上額は $\Delta 55.3$ で 1.9 ポイント増とやや改善し、収益は $\Delta 59.7$ で 3.1 ポイント増と改善している。施工高は $\Delta 39.0$ と 7.5 ポイント増加し、受注残は $\Delta 41.0$ と 17.4 ポイント増加した。今期の建設業については、売上額、収益、施工高、受注残のすべてが改善したため、業況は持ち直しの動きがみられた。

来期の見通しについても、売上額、収益、施工高、受注残のすべてが改善することで、業況は持ち直しの動きが続く見込み。

### 価格・在庫動向

請負価格は $\Delta 31.2$ で 11.9 ポイント増と下降が弱まり、材料価格は 0.1 で 11.5 ポイント増と下降に歯止めがかかった。在庫は $\Delta 0.5$ で 15.1 ポイント増加した。

来期の見通しについては、請負価格は下降がさらに弱まり、材料価格は上昇するとみられる。在庫は今期並と予想される。

### 資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りについては、 $\Delta 30.2$ となり 11.5 ポイント増と苦しさが和らいだ。借入難易度は $\Delta 11.4$ で 11.6 ポイント増と改善した。今期に借入した企業は 34.1%で前期並となった。

設備投資については、実施した企業は 2.5%で 4.6 ポイント減少した。

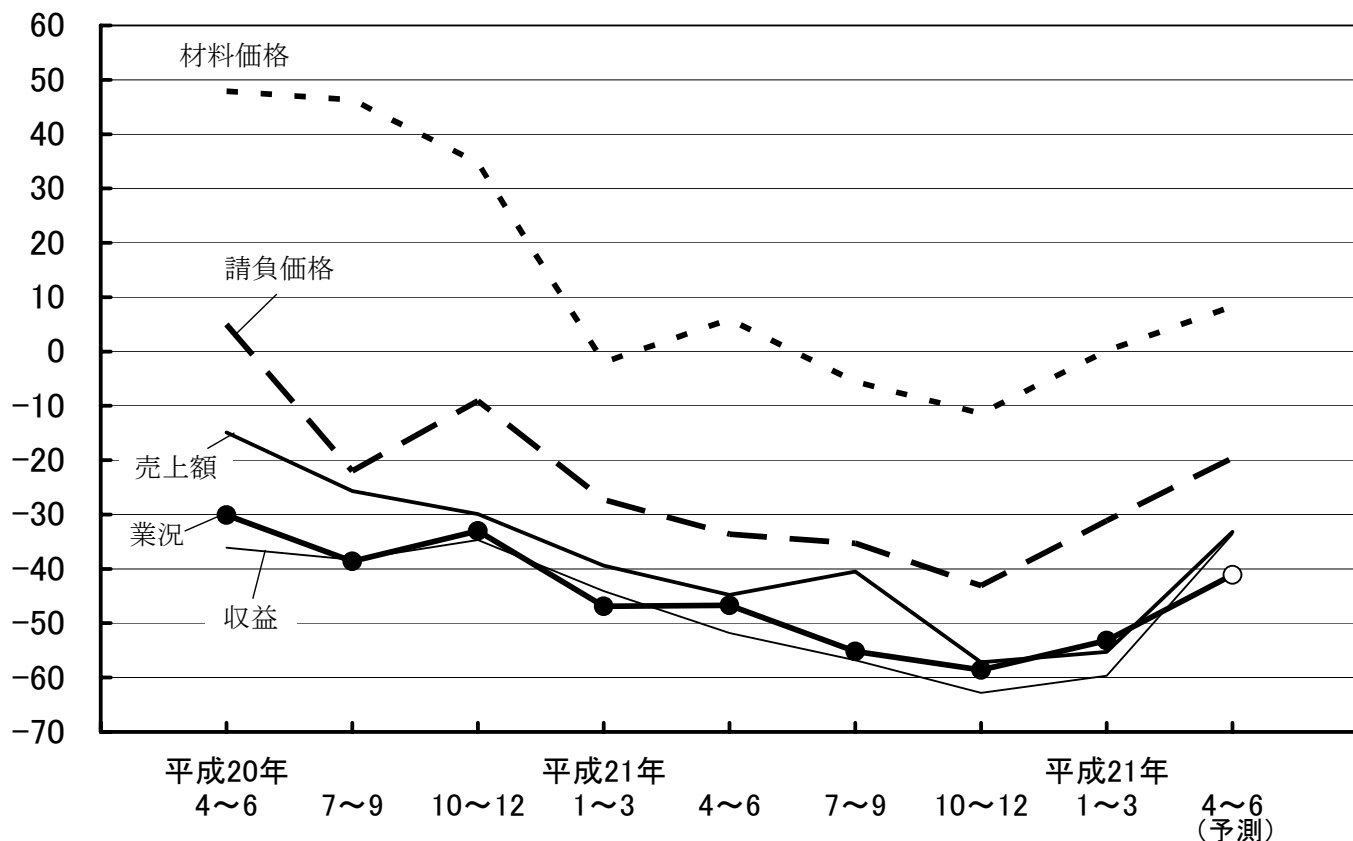
来期の見通しについては、資金繰りは苦しさが緩和し、借入をする企業は減少すると予想される。設備投資を実施する企業は増加するとみられる。

### 経営上の問題点・重点経営施策

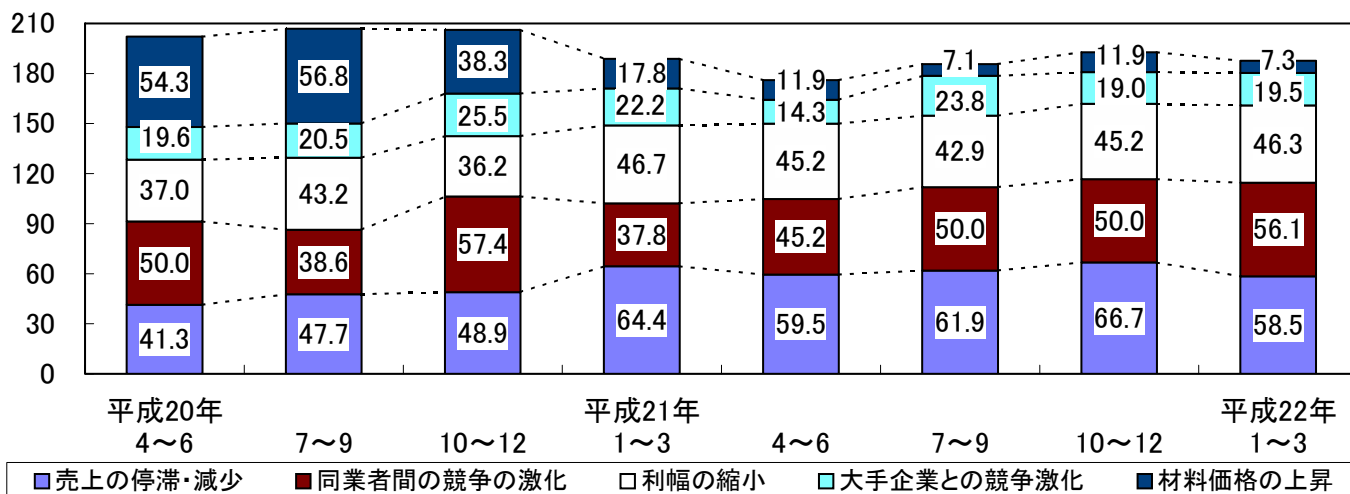
経営上の問題点は、1 位が「売上の停滞・減少」で 58.5%となり、2 位が「同業者間の競争の激化」で 56.1%、3 位が「利幅の縮小」で 46.3%、4 位が「大手企業との競争激化」で 19.5%となった。

重点経営施策は、1 位が「販路を広げる」で 63.4%、2 位が「経費を節減する」で 58.5%、3 位が「情報力を強化する」で 31.7%、4 位が「技術力を高める」で 19.5%となった。

業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

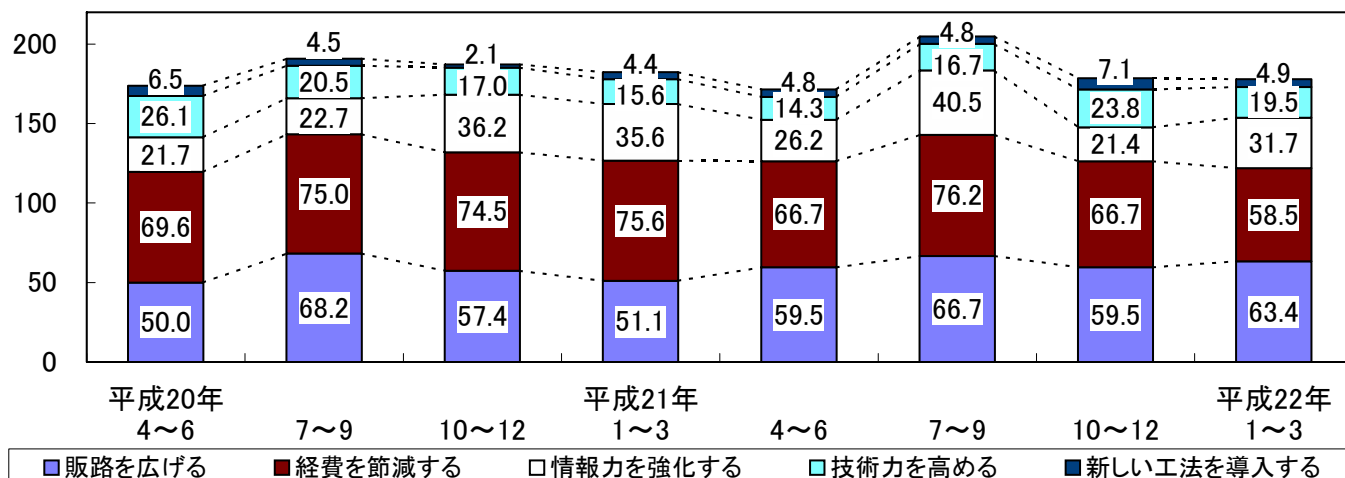


建設業 経営上の問題点（％）



	21年4～6月期	21年7～9月期	21年10～12月期	22年1～3月期
第1位	売上の停滞・減少 59.5 %	売上の停滞・減少 61.9 %	売上の停滞・減少 66.7 %	売上の停滞・減少 58.5 %
第2位	利幅の縮小 45.2 % 同業者間の競争の激化 45.2 %	同業者間の競争の激化 50.0 %	同業者間の競争の激化 50.0 %	同業者間の競争の激化 56.1 %
第3位	大手企業との競争激化 14.3 %	利幅の縮小 42.9 %	利幅の縮小 45.2 %	利幅の縮小 46.3 %
第4位	材料価格の上昇 11.9 %	大手企業との競争激化 23.8 %	大手企業との競争激化 19.0 %	大手企業との競争激化 19.5 %
第5位	天候の不順 9.5 %	天候の不順 7.1 % 下請の確保難 7.1 % 材料価格の上昇 7.1 % 合理化の不足 7.1 %	材料価格の上昇 11.9 % 合理化の不足 11.9 %	代金回収の悪化 7.3 % 材料価格の上昇 7.3 %

建設業 重点経営施策（％）



	21年4～6月期	21年7～9月期	21年10～12月期	22年1～3月期
第1位	経費を節減する 66.7 %	経費を節減する 76.2 %	経費を節減する 66.7 %	販路を広げる 63.4 %
第2位	販路を広げる 59.5 %	販路を広げる 66.7 %	販路を広げる 59.5 %	経費を節減する 58.5 %
第3位	情報力を強化する 26.2 %	情報力を強化する 40.5 %	技術力を高める 23.8 %	情報力を強化する 31.7 %
第4位	技術力を高める 14.3 %	技術力を高める 16.7 %	情報力を強化する 21.4 %	技術力を高める 19.5 %
第5位	人材を確保する 4.8 % 新しい工法を導入する 4.8 % 新しい事業を始める 4.8 %	新しい工法を導入する 4.8 %	新しい工法を導入する 7.1 %	新しい工法を導入する 4.9 %